

SAMPLE | 金額・年齢・家族構成はすべて架空です

加入中の変額保険 ファイナンシャルプラン表

家計全体の中で、損や見落としを減らすための判断材料を見える形にします。

相談テーマ	加入中の変額保険 見直し相談	ご家族（架空）	夫 42 歳・妻 40 歳・子ども 2 人（10 歳・7 歳）
実現したいこと	教育費を確保しながら、老後まで家計の余力を残す	現在の金融資産	預貯金 650 万円／投資資産 180 万円

家族とお金の見通し

単位：万円／年（残高のみ万円） ※税金・社会保険料を差し引いた手取り収入で表示

年	年齢 夫・妻	家族の予定	手取り収入	基本生活費	教育・特別支出	相談テーマ費	年間収支	金融資産残高
2026	42・40	現在	720	420	120	36	+144	830
2030	46・44	高校・中学	700	440	190	36	+34	1,020
2035	51・49	大学・高校	660	460	250	36	-86	850
2040	56・54	教育費終了	620	470	90	36	+24	900
2045	61・59	退職準備	540	450	60	36	-6	880

この表から判断できること

01 教育費が重なる 2035 年は、年間収支が 86 万円の赤字になる見込みです。	02 変額保険の保険料 36 万円／年を続ける場合も、すぐ使える預貯金を別に残す必要があります。	03 続ける・払済にする・解約するを、保障と手元資金の両方で比べます。
--	--	-------------------------------------

数値は見本です。実際のプラン表は、相談者の資料と希望を確認して作成します。将来の収支や運用成果を保証するものではありません。

テーマ別の判断プラン

加入中の変額保険を、家計全体で見てどうするか

家計の見通しと相談資料の数字を重ね、選択肢ごとの影響を比べます。

選択肢	年間の家計	保障・資産	判断前に確認すること
続ける	保険料 36 万円を継続	死亡保障 2,000 万円／運用を継続	教育費ピーク時も現金が不足しないか
保険料を止めて残す（払済）	今後の保険料 0 円	保障額は減る／運用は継続	払済後の保障額・費用・再開条件
解約する	今後の保険料 0 円	返戻金 420 万円／保障終了	解約控除・税金・代わりの保障

次に取る 3 つの行動

STEP 1 保険会社に、今やめた場合に戻るお金と、保険料を止めた後の保障額を書面で確認する。	STEP 2 2035 年までに必要な教育費と、残す預貯金額を決める。	STEP 3 数字がそろった日を判断日にし、続ける・保険料を止めて残す・解約を選ぶ。
---	---	--

相談後に手元に残るもの

この 2 ページのファイナンシャルプラン表を原則 2 営業日以内に送ります。家計全体を見ながら、契約する・続ける・見直す・専門家へ確認するのどれを選ぶか、自分で判断できます。

この見本だけでは 決められないこと	資料に書かれていない費用や、今やめた場合に戻る正確なお金は、保険会社へ聞く必要があります。将来の運用結果や最終的な損得は断定できません。個別の税金は税理士へご確認ください。
----------------------	--

運営：スペシャリスト・ドクターズ株式会社（保険代理店）

60 分の相談とファイナンシャルプラン表は、相談者の費用負担 0 円です。運営費は、提携する金融機関から受け取る手数料でまかっています。

この PDF は表示例です。氏名・契約番号・会社名・金額はすべて架空です。個別の税務・法務判断は、税理士・弁護士・司法書士等へご確認ください。